

提出 順番	No. 3	令和 元 年 8 月 29 日 午前・ 午後 5 時 28 分受領
----------	----------	---

令和元年8月29日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 中高年のひきこもり「8050問題」に多様な支援を	<p>国は今年3月、中高年層を対象としたひきこもり実態調査の結果、40～64歳のひきこもりの人が全国で61万3千人に上ると公表しました。ひきこもりは若者だけではなく、さらに上の世代でも深刻になっています。</p> <p>50代の子の面倒を80代の親が見る「8050問題」が共倒れのリスクと併せて指摘されていますが、対象者の3割超が親に生計を頼っている実態が明らかになりました。</p> <p>ひきこもりは本人だけではなく、世帯単位で支援することが重要であると考えます。誰にも相談できずに孤立する本人や家族を見つけ出し支援の手を差しのべる体制づくりを構築することが急務と考えます。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">① 本町の中高年層のひきこもりの現状をどのように把握しているのか。② 相談窓口における相談件数、相談事例は。③ 相談窓口対応職員の人材育成及び研修体制は。④ ひきこもりに特化した相談窓口を今後整備する考えは。⑤ 中高年のひきこもりの深刻化が予測される中、当事者、家族に対する新たな支援策の考えは。

<p>2 医療用ウィッグ購入への支援制度について</p>	<p>がん患者が抗がん剤治療を受けた際、副作用として髪の毛が抜けることがあります。特に女性の患者さんが治療しながら社会生活を送る場合、また、働きながら治療を受けたいという患者さんはウィッグが必要となります。</p> <p>この医療用ウィッグは高額であり、20万～数10万円のものもあるようです。こうした方々に対し購入費の補助をしている自治体もあります。</p> <p>本町においても今後のがん対策の一環、また、がん患者の就労支援対策として購入補助制度の創設が必要と考えますが見解を伺います。</p>
------------------------------	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。